



第10回世界遺産サミット in 斑鳩

～温・故・知・新「世界遺産の普遍的価値の継承と活用をデザインする持続可能な地域づくり」～

2023世界遺産サミット「斑鳩宣言」

私たち日本人は、多彩な歴史と四季がおりなす豊かな自然の中で、人と人、人と自然の共生により、独自の文化を育んできました。

この自然と文化は、それを取り巻く時代の移り変わりの中で、多くの人々の手によって、守り、活かされながら受け継がれ、今日の豊かな社会を実現してきました。

我が国が有する25の世界遺産は、これら日本の自然や文化の結晶とも言うべき、貴重な財産であります。

私たち世界遺産サミットの参加者は、ここ斑鳩の地で、改めて世界遺産のかけがいのない価値と諸課題を共有し、確実な継承に向けた保存と活用の一層の推進を図るため、引き続き、相互に連携・協力して取り組むことを確認しました。

よってここに、その成果として、次のことを宣言します。

- 一 先人から受け継いだ人類共通のかけがえのない財産として、世界遺産の価値と保存への取組みの重要性を再認識し、地域全体で守り、大切に育み、未来へとつなぎます。
- 一 世界遺産サミットが第10回の節目を迎え、これまで以上に世界遺産が所在する地域の連携を深め、広くその魅力を発信し、持続可能な観光の取組みをすすめます。
- 一 世界遺産を核として地域の特色を活かし、地域との調和のとれた観光振興を図ることにより、世界遺産や地域に対する誇りと愛着を育み、活力と魅力のある持続可能なまちづくりの実現をめざします。

令和5年10月29日

第10回世界遺産サミット参加者一同